

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330432108	図画工作研究B Research of Arts and Crafts B	松井素子	✓	専門	1	選択	3後期

**科目の概要**

小学校教諭として子どもの生活を豊かにするという観点に立ち、小学校教諭としての図画工作指導能力を高めるために創設された科目である(DP②)。小学校における図画工作の内容は「表現」と「鑑賞」の二軸で構成されている。表現に関する模擬授業は「図画工作A」にて体験していることから、ここでは小学校での授業を想定した「鑑賞」についての模擬授業や学習指導案の作成を実践学修する。「鑑賞」のための授業構想を考え、それをもとに指導案を作成し模擬授業を行うことで、授業計画に対する検証をするとともに、教育現場での実践力を身につける。また、評価規準のための指針として「子ども向けワークシート」を作成し、その内容を検証する。公立学校の講師を20年以上勤め、図画工作教育の経験があるので、図画工作における制作指導の経験を生かした授業を行う。

学修内容	到達目標
① 美術鑑賞で扱われる作品の知識を身につける。 ② 小学生の各学年に合った作品理解のためのワークシートを作成する。 ③ 鑑賞をベースにした模擬授業を、チームティーチング形式で実施する。 ④ 相互鑑賞活動の重要性について理解する。 ⑤ 鑑賞教育の変遷について理解する。 ⑥ 美術館や博物館で実践されている教育普及活動について理解する。	① 教科書で扱われる美術作品の知識を身につけ、作品に関する発表ができる。 ② 鑑賞理解のための「ワークシート」を作成する技能を身につけることができる。 ③ 鑑賞教育および評価評定についての能力を獲得し、正確な見解に基づいた模擬授業をすることができる。 ④ 相互鑑賞活動の重要性について理解できる。 ⑤ 鑑賞教育の変遷について理解でき実践に活かすことができる。 ⑥ 美術館や博物館で実践されている教育普及活動について理解し、連携応用できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	模擬授業の計画と実践において、主導的な行動ができる。
	働きかけ力	
	実行力	模擬授業の準備を怠ることなく、万全の用意をすることができる。
考え抜く力	課題発見力	模擬授業の反省点を、教員の指摘と合わせて、自身の振り返りによって発見することができる。
	計画力	
	創造力	模擬授業の課題選定において、子どもの視点に立った独特の課題テーマを考え創出できる。
チームで働く力	発信力	ワークシートの作成にあたり、その内容をわかりやすく発表説明することができる。
	傾聴力	模擬授業後の総括において、改善点を意識しながら聞くことができる。また、他者のワークシートの主旨を明確に理解しようと集中して聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自己判断で行動せず、授業内の規定を守ることができる。また、グループでの模擬授業では、相互協力をしながら授業を展開できる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

使用するテキスト及び参考文献は、授業中に資料として配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

「図画工作研究B」は、学科専門科目群の小学校領域の中の「教科及び教科の指導法に関連する科目」に配置されており、小学校教育という点で各教科の科目に関連している。図画工作の教科指導法としては「図画工作教育法」に関連し、先に履修した「図画工作研究A」が実技的指導研究であるのに対し、この科目は鑑賞を主とした指導研究である。

学修上の助言	受講生とのルール
多くの小学校で、図画工作は「表現」の時間で目一杯なため「鑑賞」の時間がおろそかになっているのが実情です。しかし「鑑賞」は指導要領にも定められている分野なので、その指導方法と評価について考えていきます。	図画工作は「楽しい」というのが基本です。図画工作をとおし、子どもたちにどうやって楽しさを感じさせるかを中心に、授業展開していきます。そのためには受講する学生の積極的な姿勢が必要です。主体性を持って授業に臨んでください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①		⑥	
					②			
					③			
					④			
					⑤			
レポート			20	①	✓	⑥	美術作品の説明と解説を確実に理解し、その記述ができたかを評価する。	
				②				
				③				
				④				
				⑤				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①		⑥	模擬授業において、しっかりとした準備、教師らしい態度、指導力、細やかな観察、児童役との対話、授業構成などから総合的に評価する。 創作したワークシートの創意工夫の内容によって評価する。		
			②	✓				
			③	✓				
			④					
			⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	（主体性）他者の模擬授業と講評から吸収しようとすることができる。 （実行力）課題解決に向けて積極的に臨むことができる。 （課題発見力）講評の中から自分の課題を見つけることができる。 （創造力）模擬授業の構成に対して自分なりの工夫を模索できる。 （発信力）ワークシートの作成と発表において、考えを明確に表現できる。 （傾聴力）鑑賞説明や授業講評の分析を理解しながら聞くことができる。 （規律性）授業の進行に協力することができる。		
			②	✓				
			③	✓				
			④					
			⑤					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の解説を十分理解し、わかりやすいレイアウトでレポートをまとめることができた。</li> <li>チームで協力しあって、模擬授業を行うことができた。</li> <li>ワークシートに、子どもの視点を意識した工夫が見られ、評価につながるワークシートを作成することができた。</li> </ul> <p>※上記のレベルに到達した者はレベルA（優）とし、さらにそれを上回る場合は、レベルS（秀）評価とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の解説を理解し、レポートをまとめることができた。</li> <li>積極的ではないが、模擬授業を行うことができた。</li> <li>工夫が少ないながらも、ワークシートを作成することができた。</li> </ul> <p>※上記の評価に到達した者はレベルB（良）評価とし、さらに消極的な態度であったり、ワークシートやレポート作成が不明瞭な場合はレベルC（可）の評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<p>&lt;児童画における発達段階と児童画の見方についての理解&gt;</p> <p>児童の発達に合わせた描画技術の変化について理解する。 子どもの描画発達に合わせたインターネット情報を知る。</p>	講義	児童画の発達段階を理解し、レポート提出ができた。	(予習) 児童画について下調べをする。 (復習) 講義内容を振り返り、発達段階の違いを理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	<p>&lt;児童画の鑑賞理解&gt;</p> <p>児童の描く絵を理解するための鑑賞能力を高める。 子どもの描画発達に合わせたインターネット情報を知る。</p>	講義 演習	児童画の例を見て、どのように解釈するのかレポート提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 講義内容を振り返り、児童画の観賞理解をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	<p>&lt;美術作品鑑賞理解1&gt; (古代西洋)</p> <p>ICTを活用し、美術史における「西洋の古代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	<p>&lt;美術作品鑑賞理解2&gt; (古代日本)</p> <p>ICTを活用し、美術史における「日本の古代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	<p>&lt;美術作品鑑賞理解3&gt; (近代世界)</p> <p>美術史における「世界の近代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	<p>&lt;美術作品鑑賞理解4&gt; (近代日本)</p> <p>美術史における「日本の近代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	<p>&lt;美術作品鑑賞理解5&gt; (現代世界)</p> <p>美術史における「世界の現代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	<p>&lt;美術作品鑑賞理解6&gt; (現代日本)</p> <p>美術史における「日本の現代美術」の価値を理解する。</p>	講義 演習 ディスカッション	美術作品を鑑賞し、課題シートの提出ができた。	(予習) 次回の授業の予備知識をまとめる。 (復習) 課題シートの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<ワークシート発表1> 美術史の観点から「鑑賞授業を行う」という設定で、グループ発表をする。	演習 グループワーク 発表	ワークシートを完成させ、発表することができた。	(予習) ワークシートを作成し、プレゼンの準備をする。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	<ワークシート発表2> 美術史の観点から「鑑賞授業を行う」という設定で、グループ発表をする。	演習 グループワーク 発表	ワークシートを完成させ、発表することができた。	(予習) ワークシートを作成し、プレゼンの準備をする。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	<ワークシート発表3> 美術史の観点から「鑑賞授業を行う」という設定で、グループ発表をする。	演習 グループワーク 発表	ワークシートを完成させ、発表することができた。	(予習) ワークシートを作成し、プレゼンの準備をする。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	<模擬鑑賞授業1> 鑑賞に関する模擬授業を実際の授業設定として行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて評価する)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	<模擬鑑賞授業2> 鑑賞に関する模擬授業を実際の授業設定として行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて評価する)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	<模擬鑑賞授業3> 鑑賞に関する模擬授業を実際の授業設定として行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて評価する)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	<模擬鑑賞授業4> 鑑賞に関する模擬授業を実際の授業設定として行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて評価する)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力